

目次

第1章 移動する子どもたちとことばの教育	1
1-1. 移動する子どもたちの成長・発達とことば.....	1
1-1-1. 移動する子どもたちの現状—増加・多様化・深刻化—.....	1
1-1-2. 移動する子どもたちの成長・発達を支えることば.....	3
1-2. 年少者日本語教育研究における「ことばの教育」の変遷.....	5
1-2-1. 初期適応指導としてのことばの教育	5
1-2-2. 教科学習への参加を目指したことばの教育	6
1-3. 移動する子どもたちと主体的な学び.....	8
1-3-1. 移動する子どもたちのことばの教育と子どもの主体性	8
1-3-2. 移動する子どもたちと主体的な学び	11
1-4. 本研究の目的	14
1-5. 本研究の構成	15
第2章 移動する子どもたちの学びと主体性	17
2-1. 主体的な学びの背景にある学習観の転換.....	17
2-1-1. 受身的な学び手から能動的な学び手へ.....	17
2-1-2. 個としての学びから関係の中での学びへ.....	20
2-1-3. 知識を与えることから学びの場をデザインすることへ	22
2-2. 主体性はどのように研究されてきたのか.....	23
2-2-1. 日本語教育研究に見る日本語学習者の主体性.....	24
2-2-2. 発達心理学研究に見る子どもの主体性.....	26
2-2-3. 年少者日本語教育研究に見る日本語を母語としない子どもの主体性	28
2-3. 本研究の視座	30
2-4. 研究方法.....	30
2-4-1. 移動する子どもたちの学びを捉える手法としての質的研究の可能性	30
2-4-2. 調査者の立場	31
2-4-3. 対象とした子どものプロフィール	33
2-4-4. データの概要	35

第3章 子どもと支援者との間で育まれる主体的な学び	37
3-1. 支援者の働きかけによって支える子どもの主体的な学び	37
3-1-1. スキャフォールディングが支える子どもの学び	37
3-1-2. 本章の目的	40
3-2. 子どものことばの実態を捉える	41
3-2-1. V の二言語での様子からの気づき	41
3-2-2. V の日本語での学習の様子からの気づき	43
3-2-3. V のことばの実態からの示唆	45
3-3. ことばの実態に応えることばの支援をデザインする	46
3-3-1. 「手紙絵本プロジェクト」の概要	46
3-3-2. 「手紙絵本プロジェクト」を通して育まれた学び	48
3-3-3. 「手紙絵本プロジェクト」を通して育まれた学びの広がり	51
3-4. ことばの学びを評価する	55
3-5. 考察：子どもと支援者の間で育まれる主体的な学びとは	58
3-5-1. 主体的な学びとことばの力	58
3-5-2. 主体的な学びと支援者の主体性	59
3-6. 第3章のまとめ	60
第4章 子どもと周囲の子どもたちとの間で育まれる主体的な学び	61
4-1. 周囲の子どもたちとのやりとりが支える子どもの主体的な学び	61
4-1-1. 学習者同士の学び合いが支える学び	61
4-1-2. 本章の目的	63
4-2. K の授業参加の様相	63
4-2-1. 分析方法：ことばのやりとりから授業参加を捉える	63
4-2-2. ことばのやりとりの変容過程から探る K の授業参加	65
4-3. 授業参加とことばの使い方	66
4-3-1. 日本語の使い方の変化	67
4-3-2. 英語の使い方の変化	69
4-3-3. ことばの使い方と授業参加の関係	71

4-4. 授業参加と周囲の子どもたちとの関係づくり	72
4-4-1. 「サポートを与える／受ける」という関係性.....	72
4-4-2. 「必要に応じてサポートを求める／与える」という関係性.....	73
4-4-3. 「必要に応じてサポートを求める／与える」という関係性の安定—「特別な存在としての児童」—	74
4-4-4. 新たな関係性の萌芽—「対等なライバルとしての K」・「教える側としての K」—	75
4-4-5. 周囲の子どもたちとの関係づくりと授業参加の関係	77
4-5. 考察：子どもと周囲の子どもたちとの間で育まれる主体的な学びとは	78
4-5-1. K と子どもたちの間で育まれたことばの力	78
4-5-2. K の主体性と周囲の子どもたちの主体性.....	79
4-6. 第 4 章のまとめ	80
 第 5 章 子どもと学習対象との間で育まれる主体的な学び.....	81
5-1. 子ども自身が学びと向き合うプロセスと主体的な学び.....	81
5-1-1. 自分なりの学びを育んでいくプロセスの重要性	81
5-1-2. 子ども自身の学びのプロセスに注目する必要性	83
5-1-3. 本章の目的	83
5-2. 「意味創り」を目指したことばの支援	84
5-2-1. 学習への主体的な参加を可能にするもの—「意味創り」への注目—	84
5-2-2. 「意味創り」を目指したことばの支援.....	86
5-2-2-1. 自分の考えをことばで表すための支援.....	86
5-2-2-2. 自分の考えをやりとりの中で深めるための支援.....	87
5-2-2-3. 自分の考えを他者に伝えるための支援.....	89
5-2-3. 意味創りを目指したことばの支援を通して見られた主体的な学び	92
5-3. 考察：子ども自身が学びに向き合う中で育まれる主体的な学びとは	97
5-3-1. 「意味創り」を通じて育まれた主体的な学び	97
5-3-2. 意味創りの支援における支援者のあり方	98
5-3-3. どのようなことばの力を育てるのか	99
5-4. 第 5 章のまとめ	100

第6章 子ども自身にとっての主体的な学び	101
6-1. 子ども自身にとっての主体的な学びの意味	101
6-1-1. 子ども自身の語りから学びの意味を探る意義.....	101
6-1-2. V に行ってきました支援の概要.....	103
6-1-3. データの概要.....	105
6-1-4. 本章の目的	106
6-2. 日本での語りから探る V の学び	106
6-2-1. 日本語学習に対する思い —友人との関係において生じる学び—.....	106
6-2-2. 教科学習に対する思い —学習内容との関係において生じる学び—.....	110
6-3. 帰国後の語りから探る V の学び	112
6-3-1. 「つながりが感じられる学び」と「つながりが感じられない学び」	113
6-3-2. 移動を繰り返す中での学びの意味.....	118
6-4. 考察 : V にとっての主体的な学びとは	121
6-4-1. 主体的な学びと社会的関係性の構築	121
6-4-2. 主体的な学びを育んでいく過程	122
6-5. 本章のまとめ	124
第7章 総合的考察 : 移動する子どもたちの成長・発達を支えることばの教育に向けて	125
7-1. 本研究のまとめ	125
7-1-1. 本研究が目指したもの	125
7-1-2. 第3章から第6章の知見のまとめ	127
7-2. 移動する子どもたちが主体的に学ぶとはどのようなことか	129
7-2-1. 一人の主体として周囲に積極的に働きかける場面	130
7-2-2. 他者とやりとりをする中で主体となっていく場面	130
7-2-3. 自分なりの学びを創っていく場面	132
7-2-4. 三つの側面に支えられる子どもの主体的な学び	133
7-3. 主体的な学びはどのようにして育まれるのか	134
7-3-1. 関係性の中で相互に育まれていく主体的な学び	134
7-3-2. 子どもにとって意味のある学びを創ることで育まれていく主体的な学び	136

7-3-3. 周囲とのやりとりの中で動態的に育まれていく主体的な学び	137
7-3-4. 主体的な学びを育む媒介となることば.....	138
7-3-5. 子どもたちの主体的な学びが育まれていくプロセス	138
7-4. 主体的な学びはどのように子どもたちの学びを支えるのか	140
7-4-1. 学びにつながりと広がりをもたらす主体的な学び	140
7-4-2. 人間関係の構築を促す主体的な学び	141
7-4-3. アイデンティティの形成を支える主体的な学び	142
7-4-4. 主体的な学びが支える子どもたちの学び	143
7-5. 移動する子どもたちの成長・発達を支えることばの教育に向けて	144
7-5-1. ことばの学びを捉える視点	144
7-5-2. ことばの学びを育む視点	145
7-5-3. ことばの学びを評価する視点	146
7-6. 今後の課題	148
謝辞	149
【参考文献】	151
【資料1】「V：支援記録一覧」	161
【資料2】「K：支援記録・観察記録一覧」	163